

御前崎市議会議長



後藤憲志

新年明けましておめでとうございます。

皆さまには、新春をご家族おそろいで健やかに
お迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。日
ごろから市議会に対しまして、温かいご理解とご
協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、特筆すべきことは「中
部電力4号機のプルサーマル発電の延期」と「原
子力安全・保安院による5号機耐震安全性審議結
果の報告」ではないかと思えます。プルサーマル
発電の延期は、国の耐震安全評価が出ない以上、
安心・安全の確保上、当然のことです。し
かし、核燃料サイクル交付金の交付時期の遅れは、
事業を進める上で計画変更を余儀なくされる心配
もあり、さらに、その対応も大きな課題でありま
す。現在、執行部は来年度の予算編成中で、主要
施策に大きく影響してくるものと思えます。景気
後退や雇用不安など経済・社会情勢に閉塞感が漂
う中、市の経済活性化に向けた施策が円滑に推進
できるよう、議会としても努力してまいります。

また、5号機の審議結果報告を受け、議会は5
号機運転再開を了承し、1月15日開催の4市を対
象とした説明会と浜岡原発安全等対策協議会への
説明後、速やかに運転を再開すること、「今後も御
前崎市民への説明と一層の安全確保に努力してい
ただきたいこと」の2点を確認いたしました。発
電所のさらなる安全性の確保と監視に最善を尽く
してまいります。

今後、一層少子高齢化が進みます。加えて市の
中長期財政見通しも厳しく、行財政改革は避けて
通れません。議会一丸となって「希望」と「安心」
と「生きがい」の持てるまちづくりに努めてまい
ります。市民の皆さまにとって、本年がよい年にな
りますことを心からお祈りいたしまして、ごあ
いさつとさせていただきます。